

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立上官小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 836-0856
福岡県大牟田市宮坂町6番地3

E-mail : jyoukan-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 52 名 女子 55 名 合計 107 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域を愛する)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

「地域を愛する心の育成」を大きなまとまりとして全学年で取り組みました。

第1学年 生活科 校区高齢者や就学児との交流

校区高齢者と一緒に昔遊びをしたり、給食を食べたりすることを通して親睦を図る予定だったが、インフルエンザの流行による学級閉鎖で実践できなかった。しかし、入学説明会の際に、就学児との交流を通して親睦を深め、年下の子どもと接する楽しさを味わった。同時に、年下の子どもに喜んでもらった体験を通して、一つ学年が上がることにに対する自覚も芽生えてきた。

第2学年 生活科 1年生との交流

身の回りにあるいろいろな材料を利用し、工夫して動くおもちゃを作ったり、作ったおもちゃの遊び方を工夫したりして、みんなで楽しく遊ぶ。その遊びを1年生と一緒に遊ぶ。役割分担をして、協力しながらおもちゃ大会を進め、工夫したおもちゃを1年生に教えながら交流することができた。

第3学年 総合的な学習の時間 校区の介護施設との交流・上官野菜探検隊

学校の近くにある高齢者福祉施設「はなぞの」への訪問計画を立て、入所されてある高齢者の方に、歌を歌ったり、手作りのゲームと一緒に遊んだり、手品をしたりして交流を深めた。高齢者と接する楽しさやふれあうことの難しさを体験することができ、人との接し方を考えることができた。野菜を育てる体験を通して育てる喜びや難しさを味わった。

第4学年 総合的な学習の時間 わたしたちの大牟田川

自然の大切さに気付き、自然環境の保護への関心を持たせる。大牟田川の自然環境を認識し、地域を愛する心を育てる。グループごとに課題を持ち、インターネットや図鑑を活用して情報を集めた。現地調査では、蛍のえさになるカワニナが少ないことに気づき、学校でカワニナを育て、大牟田川に放した。また、大牟田川清掃に参加した児童もいた。

第5学年 総合的な学習の時間 上官校区の歴史を調べよう

校区の出来事や歴史について調べ、校区の編成や地域の人々の校区に対する思いについて理解する。

年表を手がかりに、上官小学校の児童数の変遷と上官商店街との関わりを考え、上官商店街が校区と深く関わっていたことを見出した。地域の方は、昔の賑やかな様子、現在の商店街の動きなどを話されたその話を通して、子どもたちは、1年後に閉校する学校のために、自分たちは何ができるかを考えていった。

第6学年 総合的な学習の時間 大牟田の世界遺産候補

大牟田と世界遺産候補に興味を持ち、課題に沿って調べたりまとめたりすることができ、調べたことを基に自分にできることを考え、実行することができる。また、近代化遺産（宮原坑，三池港，旧税関跡）の見学をすることにより、大牟田の歴史に関心を持つようになった。そのことを学習発表会で劇化し、大牟田が世界遺産に登録できるようにみんなで協力しようと保護者や地域の人にアピールした。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）